




園長だより

令和6年5月1日発行

ありんこ親子保育園

園長 中嶋 悦子

過ごしやすい爽やかな季節となりました。4月に入園した子どもたちも園生活にもだんだんと慣れてきて、可愛い笑顔がたくさん見られるようになりました。これからの季節、外遊びや園外保育も増やせていけたらいいと考えております。5月は端午の節句がありますね。子どもたちが元気いっぱい、伸び伸びと育っていけるよう願っています。今回は、当園が力を入れている保育内容をご紹介します。



三本の柱

ありんこ親子保育園の保育には、「園の目標」や「保育方針」を基本に、「三本の柱」が構成されています。この活動を通して、『育てたい子ども像』を作成しています。

1つ目の柱…『体力・運動』

- ・自然や戸外での活動を多くし、身体を使う遊びを楽しみながら体力を身に付ける ↓
- ・体操教室で、身体や器具の使い方を身に付け、運動能力を向上させる ↓
- ・運動会を目標に、皆で力を合わせてやり遂げる達成感を味わい、自信につなげるようにする

2つ目の柱…『表現・演技』

- ・音楽に合わせてダンスやリトミックに親しみ、自由に表現する力を身に付ける ↓
- ・自分が好きなものになりきって遊ぶことを楽しみ、友達との関りを基に劇遊びに発展させていく ↓
- ・発表会を目標に、自分たちでストーリーを考えて演技したり、音楽に合わせて踊ったりして楽しむ

3つ目の柱…『制作・造形』

- ・日頃から空き箱制作や粘土などの制作や造形を楽しみ、自分で作り上げる面白さを体験する ↓
- ・個人で作る楽しさを発展させ、友達と一緒に協力して大きな作品を作り上げる ↓
- ・作品展を目標に、自分たちでテーマを決め、スケールの大きな作品を作り上げる

年齢や発達、子どもたちの興味・関心を配慮しながら、日常的にこれらの活動を取り入れ、最終的に行事に繋げていきます。行事はあくまでも園生活や活動の中から繋がっていくものであり、行事ありきになってしまうように、子どもたちのやりたいことを繋げていけるようにしています。

また、季節や学期にふさわしい活動にするとともに、目標に近づけるよう個別目標や月の目標を設定しています。

今年もできるだけ多くの体験・経験ができますよう職員全員で努力して参ります。





ありんこ親子保育園の特徴

その1、自然活動や園外活動

「冒険」がテーマの当園は、とにかくお出かけが多い園です。お天気の良い日で行事の練習や制作以外は、公園や農園へ出かけて活動しています。歩くのが苦手な子ども、遊びながら自然に体力がついてきます。お出かけする公園やお散歩コースも沢山あります。園バスでのお出かけも多いので、遠くの公園にしか見られない風景や山や海での貴重な体験もできます。季節の草花や虫などの生き物を探したり、農業体験を行ったり、幼児期に体験してほしいことがたくさんありますね。子どもたちの声を拾い上げて活動に繋げているため、行先を子どもと担任が決めることも多いです。今年はどんなところに冒険へ出かけていくのか、今から楽しみです。

その2、どろんこ遊び

子ども達が楽しんで行う活動の一つとして挙げられるのが、どろんこ遊びです。初夏になると園庭で始まる風物詩です。入園時には、汚れることが苦手な子、泥遊びを嫌がる子もいますが、回数を重ねて活動していくと、遊びの楽しさやお友だちとの関りを通して笑顔が増え、楽しむ姿が見られます。どろんこ遊びはただ遊ぶだけではなく、遊びを通して様々な体験が出来ます。また、免疫力が向上し、身体が丈夫になるどろんこ遊びは、また6月号でもご紹介したいと思います。

その3、空き箱制作

当園では空き箱制作に力を入れています。牛乳パック、ペーパーの芯、牛乳パック、お菓子の空き箱、様々な形の空き箱が大きさや種類別に置いてあり、色紙、スズランテープ、花紙などの様々な素材も用意してあります。空き箱や素材は子ども達がすぐに手に取れる場所にあり、朝・夕の時間に自由に製作を始めることができます。空き箱製作だけでなく、絵の具、クレヨン、ハサミなどの用具を使ったり、段ボール、紙パック、時には自然物（葉や木の実など）などを使ったりすることもあります。様々な素材を知ることはもちろん、創意工夫、手先の器用さやお友だちと協働で作ることで、コミュニケーション能力等の効果が期待されます。

その4、子どもの主体性を大切にする

私たち保育者が、日頃から大切にしていることのひとつは、子どもの声に耳を傾けることです。子どもたちは様々なことに興味や疑問を持っています。「どうなっているのかな?」「こうやったらどうなるかな?」「やってみたいな」「不思議だな」と思ったり、考えながら生活したり遊んだりしています。子どもにとって面白い事とは、自分の考えたことを実行できることなのですね。この貴重な体験が将来の基礎となるのです。子どもの心の根っこを大きく育てるために、主体性を大切にした保育を行っています。

ゴールデンウィーク明けから、本格的な活動が始まります。保護者の皆様に置かれましては、ご理解とご協力をお願いすることが多くなると思いますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

